

## 第2回保育専門学園運営委員会報告（委員10名より回答あり）

目的：質の高い保育士を養成するための、教育や学校運営のありかたの検討

### 1 書類内容の検討による委員会の開催について

同意 10 同意しない 0

### 2 学園の教育状況（環境、定員、職員数、授業方法、学生支援体制など）に関する意見

- ・ 少子化傾向で兄弟姉妹の少ない学生達に、同一敷地内に附属する保育施設での子どもの声、臭い、動き、涙、笑顔を体験する機会、講座を増やすことや、学生募集の強みとして各高校へのアピールとする。
- ・ 子どもに対する恐怖心や拒否反応を学生の心から弱めるあるいは無くすることを目的に、1年生初期に「子どもを抱っこする時間」を選択科目でもよいので設け、保育体験の機会を増やす。
- ・ 臨床の実践現場から10年以上も離れている方々の教育情報は、保育・福祉・心理などあらゆる教育するべき情報の新鮮さに欠けることはないか。
- ・ 新情報の入手を個人として努力されていることと思うが、保育現場に求められる情報は、積み重ねられた体験に新しい情報を加え学生に享受することが重要と考える。
- ・ 保育専門学園の強みは、各専門の教授や講師が実践をふまえ、尚且つ学説に裏付けられた講義を学生に何度も重ねて教授するところにあり、保育の即戦力として求められている学生の養成は重要
- ・ 講師として、教育活動、教育環境、学生支援などそれぞれの立場で力を十分に発揮していると思うが、自分以外の全体が見えにくいので不安がある。講師の横のつながりの薄さを感じる。
- ・ 学園側からの教育熱の伝わり方、伝え方が今一つで、講師室の掲示板の伝達だけでは不十分ではないか。
- ・ 少人数できめ細かい対応ができていて良いと思う。
- ・ 附属こども園が併設していることは魅力であり、もっと活用できることはないか？
- ・ 学生のPC調査では活用が少ない状況にあったが、保育園では数年前より登降園システムや個別記録、防災訓練などPCの活用が増えているため、PC利用を勧める。
- ・ 高校生は専門性を求め4年制大学を志望する傾向にあるため、保育士を目指す高校生が増えるように連携していきたい。
- ・ 学生の質の低下を心配する意見があるが、具体的にどのような問題があるのか、学生を送り出す高校側で改善すべき点があるのか教えて頂きたい。

### 3 学園の運営状況に関する意見

- ・ ホームページについて、県庁のホームページに埋没しているイメージが強いので、単独でのホームページを作ることはできないか。全県下の高校にPRするには必要だと思う。
- ・ 園長を中心として職員・教員、こども園職員などが、少数とはいえ一丸となって学校運営されていることに敬意を表します。
- ・ このコロナ禍の中であっても、色々と工夫やご苦勞をされていることも思うが、養成の充実に繋げてほしい。
- ・ 建物が老朽化していて、応募する学生に対して魅力があるのか？
- ・ 保専がアピールできるにはどうしたらいいのか、学生からの意見も聞いてはどうか。
- ・ コロナ禍の中で、一部の学生が現場での実習体験ができなかったが、大部分の学生が実習体験できて良かったと思う。
- ・ コロナ禍の中で、オープンキャンパスが開催できない状況にあり、保専の魅力を発信できなくて残念ですが、これまで取り組んできた学校訪問において更なるPR活動も大事ななと思う。

## 第2回学校関係者評価委員会報告（全員より回答あり）

目的：学校職員の自己評価結果をもとに、学園の運営状況の改善点について提言を受ける。

1 委員会へ学園の自己評価結果を送付し、委員より意見をいただく形での開催について

同意 10 同意しない 0

2 学園職員の自己評価に対する意見

【 意見欄 】

項目	ご意見
1) 教育目標・計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標②の実践力に関して、実習に出る直前の授業内容の充実が大切、実践に結びつく課目は前期に実施した方が良い</li> <li>・コロナ禍により、対面授業や実習が制限され、大変なご苦労があったと思う。その中で履修や卒業を保証されたことは敬服に値する。</li> </ul>
2) 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育現場で活躍する若い保育士と情報交換する機会を作る。</li> <li>・前期と後期の課目内容の話し合いが大切で顔のみえるコミュニケーションが必要</li> <li>・学生は2年間で大変であるが、両免が取れる体制は良い。</li> <li>・保專の伝統を生かしながら、新たな魅力の発見が必要</li> <li>・附属のこども園があることは魅力的</li> </ul>
3) 教育活動	
4) 学修成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業レベルに達しない場合は3年修学あり。「休学」を使って生活状況の改善と心身の回復をはかり、資格取得をさせる。</li> <li>・卒業研究発表は、学生の主体性が発揮できる良い機会</li> </ul>
5) 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍においてアルバイト禁止の傾向にある。保護者会費の使途として援助できないか？</li> <li>・市町に保育士奨学金制度の創設依頼ができないか？</li> <li>・個別支援が必要、きめ細かい指導の必要性がみえても、マスク下では本人確認も大変だった。</li> <li>・1クラス30人ほどの少人数の担任制で、アットホームできめ細かい対応ができていて良い。</li> </ul>
6) 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前近代的な教育環境と思われるが、恵まれた保育現場ばかりではないだろうから、そうした中で創意工夫することが就職先で役立つかもしれない。</li> <li>・コロナ禍がまだ続きそうな環境で、学園内の保健衛生面の強化徹底が必要。そのこと自体が学生の将来の生活習慣と教育態度につながると思う。</li> <li>・老朽化しているので、設備や環境の整備ができれば・・・</li> <li>・ハード面の改善は一朝一夕には進まないので、オンラインの学びを有効活用して環境改善を図ってはどうか。</li> </ul>

7) 学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育専門学園の単独ホームページの設置が受験者増につながる可能性がある。</li> <li>・ 専攻科 14 回Ⅱ期選抜 4 人はよい兆し 5 名での「学び」の機会が素晴らしい。</li> <li>・ 入学選考は難しいが、対人援助は勉学も大事ですが、どれだけ相手を思いやる人間性が大切である</li> <li>・ 伝統ある保育専門学園の強みの強化とアピール</li> <li>・ 保育士になりたい学生のセイフティーネットとしての保育専門学園の存続は必要。</li> <li>・ 貴校に対する地域社会の信頼度は高いが、保育士志望者が増えないという現状がある。募集の際は、保育の現場環境の改善状況等の情報も提供してほしい。</li> <li>・ 高校としての取組も連携を図りたい。</li> </ul>
8) 財務	
9) 法令等の遵	
10) 地域社会との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ禍のため、学園の行事など時期・場所等を慎重に検討してもらいたい。</li> <li>・ 学生には保育の機会増と子ども慣れのために、より多くの現場体験が必要</li> <li>・ 学園祭は、マルチに学生の資質を育てるので、最善を尽くして開催したらよい。</li> <li>・ コロナ禍の中で、なかなか行事等が開催されない状況であるが、ボランティア活動は学生にとって、実体験としてこれからも積極的に参加することが大切</li> </ul>